



新治郡  
かすみ が うらまち  
**霞ヶ浦町**

面積：70.27km<sup>2</sup>  
(平成7年10月1日現在)

人口：19,083人  
男：9,510人  
女：9,573人  
世帯数：5,002世帯  
(平成9年3月1日現在)

町の花  
あじさい  
町の木  
梅



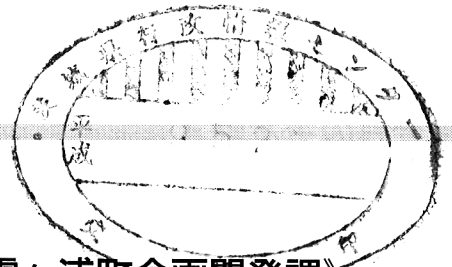
霞ヶ浦町(旧出島村)は都心から70km圏内に位置しており、常磐自動車道や霞ヶ浦大橋の開通によって、首都圏の均衡ある発展の一翼を担う地域として期待されています。

人が住み着いた歴史は古く、町内各所には貝塚や古墳群など、多くの遺跡が残されています。県内有数の規模を誇る富士見塚古墳は全長78mの前方後円墳で、晴れた日にはその名のとおり墳頂から富士山を望むことができます。

また、日本第二の大湖霞ヶ浦に囲まれているため、昔から水産業が盛んな地域でもあります。そこで採れるワカサギ、エビなどは新鮮なうちに加工品にされ、中でも佃煮は伝統の味で喜ばれています。

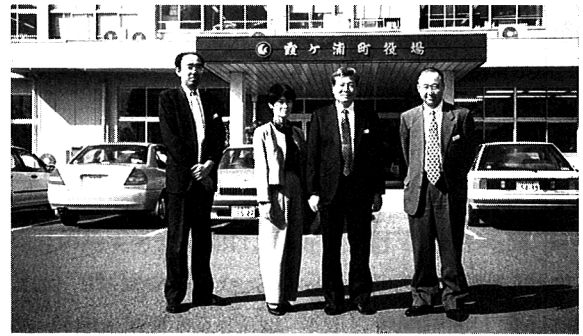
歩崎公園からの霞ヶ浦の展望は、茨城百景の一つとしても知られていますが、そこでは毎年8月16日に、あゆみ祭りが行われます。ドラゴンボートレースをはじめ特産品青空市、歌謡ショー、ミニSLの試乗、西成井のひよっこ、湖上花火の打ち上げなどのイベントで、たくさんの家族連れや観光客でにぎわいます。

農林漁業の振興、豊富な歴史自然資源の保全活用などを図りながら、これらが調和した町づくりを進めています。



《霞ヶ浦町企画開発課》

課長 殿 岡 穂 積  
係長 長 雨 貝 高 雄  
主幹 幹 宮 本 栄  
主事 森 井 茂



霞ヶ浦町役場にて  
左から森井主事、宮本主幹、殿岡課長、雨貝係長

—町のよいところは？

課長：美しい湖と緑に囲まれ、住みやすいところ。自然の恩恵を受けているから、町民も人情味があるのだと思います。

—皆さんの趣味は？

課長：ゴルフ、盆栽。他にもたくさんあります。  
森井：読書。愛読書は辻 仁成の「海峡の光」。今後、同作者の作品を読破する予定です。  
雨貝：私が読むのは、巨人が勝ったときの報知新聞。(笑) 昼食後の将棋は日課になっています。  
宮本：園芸。家に咲いている花を職場に飾ると、皆さんに、部屋が明るくなるといわれるのがうれしいですね。

—好きな食べ物は？

課長：お赤飯。昔は祝い事があると必ず炊いてもらい、大勢でワイワイと食べたものです。  
森井：私はラーメンでもチャーハンでも塩味に限ります。(笑)

—行ってみたいところは？

森井：アラスカ。先日たまたまテレビで見たサーモン釣りが印象に残っています。  
課長：全国温泉巡り。観光化されていないところを車でのんびりと…。  
宮本：沖縄や九州など、南の島巡り。  
雨貝：現実には飛騨高山。理想はアメリカ西海岸へ行って野茂の応援をすること。